



PEACE 派遣留学報告書

		記入日	2018年1月4日
氏 名	あきくら ちあき 浅倉 千晶		
所属学部・研究科	生物生産学部	学部 3	年次 (留学開始時点)
学 生 番 号	B150430		
留 学 先 大 学	カセサート大学 大学 (国名: タイ)		
所属学部・学科等名	農学部熱帯農学学科		
在 籍 身 分	交換留学生		
留 学 期 間	2017年8月5日 ~ 2017年12月22日		

1. 留学するまで

留学しようと思ったきっかけ・理由	実際海外で5ヶ月間生活するというを自分のこれからの人生のために経験として必要ではないかと思ったのと、熱帯地域での畜産業はどのように行われているのに興味があり、自分のこれからの広島大学での研究に活かしていこうと思ったため。
留学準備を始めた時期 (応募する何か月前ですか?)	4月ぐらいから予防接種を開始していました。タイではA型肝炎、B型肝炎、狂犬病の予防接種が推奨されているので、早めに始めた方がいいと感じました。タイに持っていく身の回りのものとかは1ヶ月前ぐらいに準備をはじめました。
事前準備について (どのような準備をしたか、しておけばよかったか)	結構留学直前は大学のテストなので忙しくなるのでなるべく早め早めの準備を心がけるといいです。特に渡航する1週間前はテスト期間で留学のために授業も詰め詰めでとるのでテストにおわれますので、最低でも1週間前までには一通り終えるべきだとも思います。

2. 渡航について

ビザについて	ビザの種類: EDビザ
	ビザ申請先: タイ国大使館 (大阪)
	提出書類: 申請書、航空券または予約確認書のコピー、経歴書、入学許可書、推薦状、保護者の身分保証書、承認状
	手続きに要した日数: 約2週間
その他必要な事前手続き	オンラインによる予約
出国年月日	2017年8月5日
経路 (往路)	広島空港から羽田空港、羽田空港からスワナプーム空港
現地での出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (大学関係者) ・ その他 <input type="checkbox"/> 無
到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容	到着した日の次の週の月曜日の午前中に実施。カセサート大学の紹介VTRがあったり、施設の紹介や担当チューターの発表、今後に当たっての注意点などが発表された。

帰国年月日	2017年 12月 22日
経路（復路）	スワナプーム空港から羽田空港、羽田空港から広島空港

3. 留学費用について

支出額	総額	26,5000	円	
	内訳	渡航費（航空券）	0	円（広島大学負担）
		保険料	50000	円
		教科書代（学費）	0	円
		宿舍費	0	円（広島大学負担）
		光熱費	14000	円
		食費	100000	円
		交通費（宿舍－大学間）	0	円
		交際費	0	円
		その他（旅行費）	10,0000	円
	（ 費）		円	
	（ 費）		円	

4. 授業について

授業の概要について （カリキュラム、プログラム、履修した科目、時間数、履修形態等）	カセサート大学のインターナショナルプログラムに組み込まれている授業を交換留学生在が参加するという形式。全て8月前半から12月中旬まで行われる。私は火曜日から金曜日までで4つの授業を受けており、全て午前中まででした。内容は、熱帯農業の導入知識や食品衛生、農業発展の仕組み、熱帯に置ける家畜動物とその管理方法についてでした。
単位互換希望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
授業・勉強についてアドバイス （留学前の履修、留学中、単位取得等）	授業は英語で行われますのでできるだけリスニング能力を上げておいた方がいいと思います。また、日本とは異なり、グループでパワーポイントを使って発表する機会が結構あるのである程度のスピーキング力があると良い評価がもらえると思います。農業の専門用語が多く出てくるので知っておくとスムーズに学習できると思います。

5. 生活等について

(1) 留学先の住居について	
住居の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> その他（ ）
住居の広さ	約 40 m ² 同居人の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有（ 1 人） <input type="checkbox"/> 無
住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input checked="" type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input type="checkbox"/> 風呂 <input checked="" type="checkbox"/> 水洗便所 <input checked="" type="checkbox"/> 暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 冷房 <input type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 固定電話 <input type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他（ ）
住居費	1ヶ月当たり 3,000 Bath (現地通貨) 約 10,200 円
留学先での住居全般に関するアドバイス	ベットのマットレスや枕はかなり固いので、枕を購入するのをおすすめします。結構誤作動で非常ベルが鳴りますので慌てずに冷静に周りの状況を判断してください。
(2) 医療について	

留学先でかかった病気、けが	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
有の場合、具体的な症状等（情報共有しても差し支えなければ）	目の角膜の損傷
留学前後での予防接種の必要の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
有の場合、その種類、回数、費用、受けた医療機関名	A型肝炎、B型肝炎、狂犬病（全て2回） 5万円～6万弱 西条ときわクリニック
日常的な健康について不安が	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった あった場合その理由：アトピー性皮膚炎をもっていたから
留学先国の医療事情（日本と比較して）	保険会社に紹介された病院はホテルのように設備も良く、日本人専用ロビーもあり通訳の人もいらっしゃって、安心して受診することができました。日本の総合病院よりも設備がよかったように思えます。
留学先での健康管理、衛生面について特に注意すべきこと	お腹を下しやすい人は常備薬を持参することをおすすめします。留学して1～2週間くらいで腹痛を起こす人が多くいるそうです。また屋台では生ものを常温で放置されているのでできるだけそのようなものは食さないほうが良いと思います。
(3) 食生活についてのアドバイス	
寮ではほとんど自炊することがなく、屋台で買っていたので野菜が不足していたと思います。フルーツの屋台は多くあるので定期的には買っていたのですが緑黄色野菜が摂取不足だと感じていました。友達にはビタミン剤を飲んでいました。栄養の偏りは病の原因となるので自分自身の自己管理の注意すべきだと思います。	
(4) 服装についてのアドバイス	
普通に街に買い物をするくらいだったら日本での普段着で大丈夫だと思います。しかし、観光地はお寺が多いので、注意してほしいと思います。寺院や政府関係期間は肌の露出を抑えた服装をしなければなりません。女性は膝丈以上のスカートかスポンを履かなければなりません。トップスもノースリーブはあまり好ましくないとされます。普通の学校は制服があるので問題ないと思われます。	
(5) 学内外の施設・設備環境について（インターネット環境含む）	
インターネット接続（wi-fi環境）は大学内ではよかったです。1日10GB使用できたので十分だと思います。私の寮の部屋では比較的繋がりがよいほうでしたが、一部の部屋では繋がりにくいところもあったようです。教室の環境はプロジェクターの設備もあり椅子や机も綺麗でとてもよかったですと思います。トイレの設備は洋式トイレもあり、紙はトイレの外に設置してありました。	
(6) 現地学生や地域との交流について（どのような、機会・きっかけがありましたか？）	
向こうの事務の方がバディーを組んで下さったのでそこでの交流はありました。何か学校生活で困った時は頼る先がいて安心しました。授業でグループワークが多くあったのでその時に交流するなどがありました。しかし他の学部との交流は機会がなくてほとんどなかったです。	
(7) 習慣やマナーの違いによる対人関係等、注意すべきこと	
道路は右側通行なので歩行する時も右側を歩いた方が安全だと思います。特に寮の周りは歩道が狭いので注意しておくべきだと思います。左側通行していると走っている車やバイクがとても近くに接近してくるので怖いです。また、先生などの目上の人にあった時はきちんと手を合わせて挨拶するのが良いと思います。	
(8) 日本から持っていくべきもの、持っていくべきでないもの	

向こうで日本製品を買うと高いので自分にとって必要不可欠なものであれば多めに持っていくことをお勧めします。特に日焼け止めは3~4本持っていくと良いです。タイの日焼け止め製品もありますが、日本のより効果が薄いように感じました。持っていくべきでないものは特にありませんでしたが、意外となんでも揃っているのもあれもこれもと心配して持っていく必要はないと思います。

(9) その他生活等に関して参考となる情報・アドバイス

留学期間は雨季に当たるので常時折り畳み傘を持っておくことをお勧めします。朝は晴れていても午後から急に降ってくる事が多々ありました。あと、よく道が冠水するのでその時期はサンダルなど濡れてもいいすぐ乾く履物が便利です。

6. 帰国後の進路について

卒業予定年月	2019年3月 (当初の卒業予定年月 2019年3月)
卒業が遅れる見込みの場合、その理由	<input type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input type="checkbox"/> その他(具体的に)
現在の状況および今後の予定・進路等	大学院進学
就職活動や留学前の単位取得、教育実習等についての工夫	できるだけ3年の前期までに必要な単位をとっておくべきだと思います。4年は自分の研究なので忙しいと思うのでたくさんの授業を取ることは大変だと思います。

7. 留学準備、留学中に役立った書籍、ウェブサイト等

書籍、サイト名	詳細(出版社、URL等)	コメント
まっぴる	昭文社	地図や経路などわかりやすく書かれています。
地球の歩き方	ダイヤモンド社	タイの詳細な情報が書かれています。

8. 留学を振り返って

留学を終えての感想：

最初のころは言葉も通じない周りの環境も全然わからない異国の地で5ヶ月を過ごすことに不安を感じていましたが実際に住んでみると日本で自分が住んでいるところよりも便利な場所でした。大学や寮では英語が通じる人が多いのでわからないことや困ったことがあれば尋ねることもできます。もうあまりタイ語と英語の能力が向上できなかったのが反省点です。

後輩へのメッセージ：

5ヶ月海外に住むことは不安だらけだと思いますが、向こうにいったらなんとかなるので大丈夫です。今の時代、海外と関係を持たない企業は日本にほとんどないと思います。向こうで自分で考えて行動することでかなりの自信がつくと思うし、これからその自信は自分の為に大きく役立つと思います。

9. 自由記述 (1200字以上)

- ・「学習に関すること」や「生活に関すること」について自由に書いてください。
- ・写真を2~3枚貼り付けてください。(各写真の容量を100KB程度まで小さくすること)

カセサート大学での熱帯農業についての学習はどれも新鮮で新しく学ぶことが多くありました。私は広島大学で熱帯の農業について学ぶことがほとんどなく、畜産面においても日本での状況しか知りませんでした。まず驚いたのが農業推進や拡大についての授業があったことです。日本ではそのことについて特化した授業はほとんどないと思います。まだ発展の余地が沢山あるタイならではの授業ではないかと思いました。内容はタイの農業事情を知らない人にとっては少し難しかったように思えました。食品衛生の授業をとったのですが、授業の中ではHACCPなど日本でも使用されている基準やこうした方がよいなど理想論が語られますが、タイでは現実的ではないなと思いました。タイでは屋台が多くあり、そこで食料品を買うことが多いのですが、生のお肉や魚が常温で放置されていて、ハエがたかっている時もありました。売られている野菜をよく見ると痛んでいるものが時々見られました。HACCPを適応している飛行機の機内食を作っている向上にも見学に行きましたが、食品をあつかっているのにマスクをしていない人が多数いたり、素手で取り扱っている人も見られました。タイ人の自身の食品衛生に対する認識の甘さを改善することがまずは大事なのではないかと感じました。タイの自給農業の仕組みで前のタイの国王が掲げた、農地の3割を稲作、3割を他の作物、3割を稲作の為に貯水池、1割を施設にあてるという考えはタイの環境に基づいたよい政策だと思いました。自分たちの食料を自分たちで賄うことができるし、外部との作物のやり取りで収入も得ることができる。私がスリン県で訪問させてもらった家庭ではまさにそのような農業を行っていました。学習したからこそさまざまな観点をもって観察・体験できたと思います。生活においてはほとんど日本での生活と変わらない生活を送っていました。寮の前にコンビニがあるのですが、コンビニの店内にはお弁当からトイレトーパーまでなんでも揃っているのほぼ毎日通っていました。食事においては大学内にある食堂に食べに行ったり屋台で出来上がったものを購入することがほとんどでした。しかし結構辛いものが多いので辛いものが苦手な人は自分にあつた食事を見つけるまで苦労するかもしれません。水道に関してはタイの水道水は世界的にも一応安全と認められていますが飲料水として利用することはせずに手洗いやシャワーの時に使用して、飲み水は初めの頃はコンビニで買っていました。寮の1回に水のサーバーがあるので途中からそれを利用していました。しかし、歯を磨く時の水は面倒で水道水を利用していましたが、全く大丈夫だったので、口をゆすぐ程度なら安全だと思います。学校への通学は毎日寮からスクールバスが出ているのでそれに乗ることもできるし、寮から50パーツで自転車をレンタルすることもできます。また、急いでいる時は寮の近くにバイクタクシーが待機しているのでそれを利用することもありだと思います。しかしスクールバスは時々壊れたり渋滞に巻き込まれて全く来なかつたりするので一応自転車をかりておくことを勧めます。

